

中央トピックス

6月めどに技術開発目標

林野庁

林野庁は、国産材の利用拡大に向けて、19年6月めどに「木材に関する技術開発目標」を策定する。国産材の特性を生かした技術開発の方向を示し、具体的な開発項目を設定する。

国産材の活用拡大に向けた官民の意識と情報共有を進めるため、6月までに検討委員会を4～5回開催する。委員会には学識者だけでなく、木材加工産業など民間企業の第一線に立つ中堅幹部にも参加を求め、多角的な視点から、魅力ある国産材製品・商品の開発につなげる。

「耐震優良建築物マーク表示」創設を

建防協

日本建築防災協会(建防協、岡田恒男理事長)は、建築物などの耐震性能を情報開示する手法として、「耐震優良建築物マーク表示制度」(仮称)の創設を検討している。一定の耐震性を備えた建物を利用者らが一目で識別できるようにして、耐震性の低い建物との差別化を図るのが狙い。19年度早々に制度の概要を固める。

国土交通省の推計によると、耐震性に問題を抱えた既存不適格は住宅(戸建て・共同含む)が総戸数4400万戸のうち1400万戸、事務所・ホテルなどの被住宅が336万棟のうち124万棟残っているという。

超長期耐用マンションの展望

長谷工総研

長谷工総合研究所は、「超長期耐用マンションの展望」と題するレポートをまとめた。マンションの長寿命化に向けた課題として、躯体耐久性と耐震性能の向上やスケルトン・インフィル方式の採用促進などの必要性を提示。その上で、ストック社会の基盤整備を促進していくためには、「200年住宅」といった確かな将来目標を掲げながら、管理運営や金融、流通といったソフト領域の仕組みを構築していくことが有効と提言した。

アスベスト飛散防止剤

トッププランニングJAPAN

トッププランニングJAPAN(角田智広社長)のアスベスト飛散防止剤「AB-100」(不燃水性無機石綿安定固化剤)が、2月9日付けで建築基準法第37条に基づく指定建築材料・石綿飛散防止剤として認定された。

「AB-100」は、アスベストの耐火性・断熱性・遮音性を維持したまま繊維を化学反応によって結束、固化して飛散を防止する。

問い合わせは、(☎03・3660・7720)。

全国知事会の「都道府県の公共調達改革に関する指針」には、一般競争入札の拡大とともに、総合評価方式の拡充が盛り込まれている。ただ、拡充に当たっては「審査手続きの簡略化が課題である」との記述があることから、国交省では従来の「高度技術提案型」「標準型」「簡易型」のほかに、小規模自治体が見える総合評価方式「市町村向け簡易型」の検討を進めてきた。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

同社によるとJABマーク付きの登録証が発行される認定企業は、①食品・飲料・たばこ②基礎金属・加工金の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

九州で初めてJAB(日本適合性認定協会)から品質マネジメントシステム審査登録機関の認定を取得している鹿児島市の㈱ISO改善審査機構(福川清社長)は、ISOへの経費削減を検討している地元企業に対し登録移転の審査費を無料にしたキャンペーンを実施している。

総合評価実施 マニュアルを作成 年度内に

国土交通省は、18年度内に「地方公共団体向け総合評価(市町村向け簡易型)実施マニュアル」を作成する。総合評価方式の拡充に合わせ、技術系職員が不足し、発注体制が十分に整備されていない自治体の事務負担を軽減するのが目的。

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

予定技術者の能力(同種・類似工の施工実績、保有資格)③地域貢献(本店の所在地、防災協定に基づく活動)④その他(手持ち工事量)に限定する。技術評価点の最

全国建築系大学教育 連絡協議会を正式発足

改正建築士法 夏までに要望書

日本建築学会(村上周三会長)は22日、「全国建築系大学教育連絡協議会」を正式発足させた。建築系大学教育の連携と、改正建築士法への要望書提出を目的とする。協議会には、全国の建築系大学が加盟し、建築教育と建築士制度の関係の在り方などを議論することが狙い。大学などの建築系学科・コースの参加を募る。国が進める具体の制度設計に対し、早ければ夏までに教育機関側の要望をまとめる。

耐震偽装問題の再発防止を目的とする改正建築士法は、▽専門資格者による法適合性チェックの義務付け▽管理建築士の要件強化▽建築士事務所の要件強化が盛り込まれている。協議会では、改正建築士法への要望書提出を目的とする。協議会には、全国の建築系大学が加盟し、建築教育と建築士制度の関係の在り方などを議論することが狙い。大学などの建築系学科・コースの参加を募る。国が進める具体の制度設計に対し、早ければ夏までに教育機関側の要望をまとめる。

耐震偽装問題の再発防止を目的とする改正建築士法は、▽専門資格者による法適合性チェックの義務付け▽管理建築士の要件強化▽建築士事務所の要件強化が盛り込まれている。協議会では、改正建築士法への要望書提出を目的とする。協議会には、全国の建築系大学が加盟し、建築教育と建築士制度の関係の在り方などを議論することが狙い。大学などの建築系学科・コースの参加を募る。国が進める具体の制度設計に対し、早ければ夏までに教育機関側の要望をまとめる。

耐震偽装問題の再発防止を目的とする改正建築士法は、▽専門資格者による法適合性チェックの義務付け▽管理建築士の要件強化▽建築士事務所の要件強化が盛り込まれている。協議会では、改正建築士法への要望書提出を目的とする。協議会には、全国の建築系大学が加盟し、建築教育と建築士制度の関係の在り方などを議論することが狙い。大学などの建築系学科・コースの参加を募る。国が進める具体の制度設計に対し、早ければ夏までに教育機関側の要望をまとめる。

耐震偽装問題の再発防止を目的とする改正建築士法は、▽専門資格者による法適合性チェックの義務付け▽管理建築士の要件強化▽建築士事務所の要件強化が盛り込まれている。協議会では、改正建築士法への要望書提出を目的とする。協議会には、全国の建築系大学が加盟し、建築教育と建築士制度の関係の在り方などを議論することが狙い。大学などの建築系学科・コースの参加を募る。国が進める具体の制度設計に対し、早ければ夏までに教育機関側の要望をまとめる。

「かゆみ」の 予防対策を

「かゆみ」は皮膚の乾燥が進むことで、皮膚表面の保護機能が破壊され、刺激を受けやすくなって炎症を起こすのが原因です。ぬり薬などをぬってもよくならないのは、目ごろのスキンケアが間違っているのかもしれない。自己チェックをしてみましょう。

「かゆみ」の原因となる皮膚欠乏症を予防するには、日常生活の注意点があります。



① 暑い風呂に長く入らない。
冬場に温まりたいからと長時間の入浴は肌の乾燥が進むので逆効果です。

② ナイロンタオルなどで「シシ」洗わない。
かゆみがあるので、ついゴシゴシ洗ってしまいがちですが、ナイロンタオルは脂をとってしまつ上に、ナイロンそのものの刺激で「摩擦皮膚炎」を起こしてしまつので、柔らかい綿のタオルでやさしく洗うか、もしくは手で洗う程度でもよいのです。

③ 電気毛布や電気アンカは使わない。
乾燥が進むので、寝具用の電気式の暖房器具はできるだけ使わない方がよく、どうしても寒くて眠れない人は、最初に布団があたたまるまで使って、あとは切ってしまうなどの努力をしましょう(次号に続く)。

監修 あいこう皮膚科クリニック
院長 愛甲隆昭先生